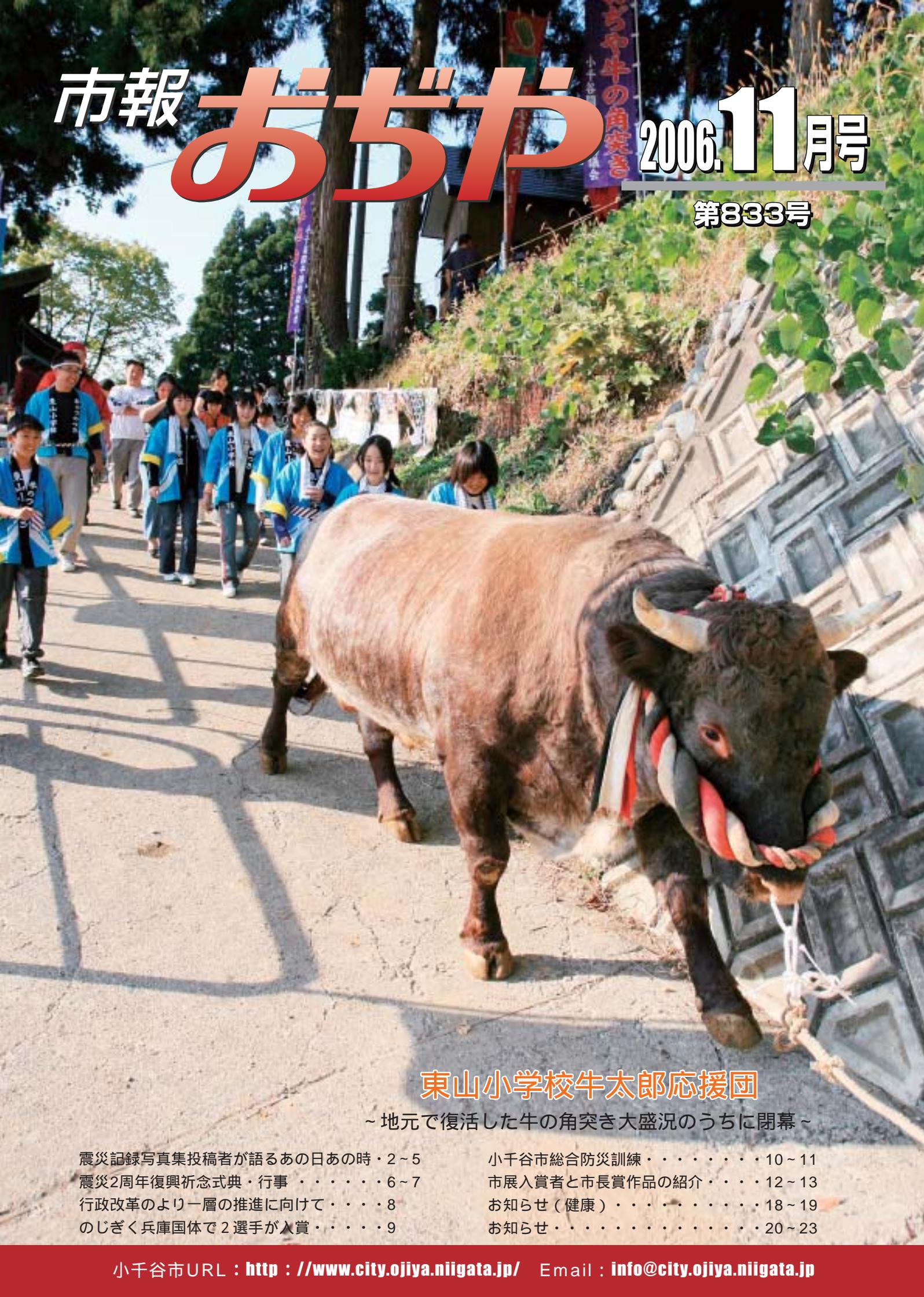


市報 おぢや

2006.11月号

第833号



東山小学校牛太郎応援団

～ 地元で復活した牛の角突き大盛況のうちに閉幕～

震災記録写真集投稿者が語るあの日あの時・2～5
震災2周年復興祈念式典・行事・・・6～7
行政改革のより一層の推進に向けて・・・8
のじぎく兵庫国体で2選手が入賞・・・9

小千谷市総合防災訓練・・・10～11
市展入賞者と市長賞作品の紹介・・・12～13
お知らせ（健康）・・・18～19
お知らせ・・・20～23

震災記録写真集投稿者が語るあの日あの時

新潟県中越大地震から2年を迎え小千谷市ではこの2年間を記録した小千谷市震災記録写真集「R10・23私たちは忘れない」を発売し、各家庭にお届けしました。

この写真集の発刊にあたっては、市民のみなさんから広く震災関連の写真を募集し協力をお願いしました。すると、約40人の方から約2000点の応募があり、そのうちの写真集全体の3分の1にあたる約150点を掲載しました。撮影者からその現場に立っていただき当時のことを振り返っていただくことにしました。



復旧した国道117号細島地内

震災の翌日岩沢から日吉まで歩く 阿部静雄さん（日吉）

私は震災の当日俳句の同人会の集まりで、仙台市にいました。宴会が始まったばかりのころ地震があり、ホテルから、「ただ今の地震の震源は新潟県の小千谷という所です。ご心配なく」という案内がありました。

電話はつながらず眠れぬ一夜を過ごしました。翌朝7時に仙台市を電車を出発、越後湯沢駅に着きました。十日町市まで行く人がいたのでその自動車に乗せてもらいました。岩沢の魚沼橋に昼過ぎに着き、日吉の自宅まで約4時間かけて歩きました。この写真はそのとき歩きながら撮った60枚の写真の中の1枚です。

家には92歳母がのおり、一刻も早く何とかして自宅にたどり着かなければという思いでした。そのためかこの写真を撮った時も目を疑うほどのすさまじい光景を見ても実感として理解できませんでした。

震災から2年を迎え、あの時家族3人で軽自動車に6日間も泊まったことを思い出します。やっと今になって地震の怖さが落ち着いてきたという思いです。



漬け物桶で入浴する二人の孫 佐藤良和さん（木津町）

地震のとき私の孫たちは小学校3年生と保育園の年中でした。地震の後風呂に入ることは、大変なことでした。

何とか孫たちを入浴させてやりたいと思っていました。そのうち4～5年前まで野沢菜を漬けていた桶があることを思いつき、これを風呂桶がわりにしました。暖かい日を選んで家の裏の空き地にブルーシートを張り、臨時の風呂場をつくり、入浴させたことを覚えています。実は私たち大人も結局この桶で入浴しました。

私は大きなトラックを持っていたため、町内会長の要請を受けて、10日くらい町内の物資の運搬をしました。余震も続く不安な日々の中で、帰って来ると2人の孫たちの笑顔と笑い声に救われる思いでした。

そんな生活の中で私がビニールシートを張ったり作業をしているのを見ていた孫が「じいちゃん（おじいちゃん）が大工でよかった」と言ってくれたことが印象に残っています。

撮影
漬け物桶を置いた位置で記念



泥であふれた道を帰宅する中学生 片岡慎太郎さん（朝日）

私は地震が発生した時あの妙見の崩落現場から100mも離れていない工場の中でリフトを運転していました。外に出て見ると妙見のがけが崩れ、下からトラックの運転手が「助けてくれ！」と叫ぶ声がし、こちらからずっとライトを照らし続けました。そのうちにレスキューの人が到着この運転手さんは救出されました。

私は朝日に89歳の母を一人残していましたが、町内会長でもありましたのでどうしても、朝日の自宅に帰らなければならなかったのですが、その夜は帰ることはできませんでした。

翌日、浦柄の農道から町内にもどり、役員の人と町内を点検していると泥でいっぱいになった道歩いて来る人を見つけ撮りました。近くに来ると町内の中学生片岡真央さんでした。友だちの家で地震にあい、川口経由で途中まで送ってもらい自宅をめざしているところでした。

私の家は全壊でしたが母は近所の人に助けられ、今も元気になっています。



震災当時とはくらべものにならないほど復旧した国道291号



震災を契機にボランティア活動 清水好美さん（大崩）

私が撮した県道小千谷大和線は冬井、戸屋、大崩、池之平の4町内の人たちの生活を守る命の道です。中越大震災のときにはこの道が大きく崩落したことで、この地域は完全に孤立状態となりました。

私は父親が身体に障害があるうえ、高熱を出したため、大けがをした人と一緒にヘリコプターで市内の病院に搬送してもらいました。上空から被害状況を見たとき、あまりのすごさに「これからどうなってしまうのだろう...」と不安で胸が張り裂けそうになりました。

私は父の病状が落ち着いたころから地元ボランティア登録をし、県外から来てくれたボランティアの道案内や炊き出し、家屋の片付けなどの手伝いをしました。そのときの活動がきっかけで小千谷が元気になる活動をしています。10月22日(日)には「震災復興イベント夢咲きほこれ～つながれみんな～in小千谷」の実行委員をしました。これからも元気な小千谷を全国に発信していきたいと思っています。



現在も復旧工事が続く県道小千谷大和線



散歩道である木津団地の田んぼ道で

10月23日の不思議な色の空を撮影 勝又幸博さん（木津団地）

私は毎日近所を散歩するのが日課です。あの10月23日の日も散歩をしていました。普通の夕焼けとは少し違うピンク色が混じったような不思議な色の空を見て、写真を撮りました。後でデジタルカメラのデータを見ると午後5時7分となっていました。

それから友人宅に寄っていたところに地震がやってきました。初めは重機のようなものがぶつかったのかと思いましたが、電気が消えたため地震だとわかりました。そのときには東の山からゴーゴーという地鳴りがしたことを今も覚えています。

私は町内会長でしたので町内の人と手分けをして町内の安否確認に回りました。その後町内は3つに別れて避難しましたが1日2回役員から集まってもらい不適合のないようにしました。

私たちの町内には台湾出身のボランティアの方が20～30人が数日来てくれ大変に助かりました。

当時の町内会長としては、今回の大震災では木津団地のみなさんほか信濃町のみなさんにもご協力をいただき、大変ありがたかったと思っています。

総合体育館で保健師の活動撮影

目崎テル子さん（上ノ山3）

地震が発生した時、長い間体調を崩していた89歳の夫を80歳の私が介護しながら2人暮らしをしていました。丁度夕食を食べようとしていたときに地震がきました。

その日は近所の人々の助けを借りて上の山の信濃川テクノアカデミーの駐車場に避難、病人がいるということでその夜は自動車の中に泊めてもらいました。

2日後、総合体育館に移り初めは広いところに入りましたが重い病人を抱えていたため、ロビーを板を仕切った日赤の医療関係者の脇のフロアーに入ることになりました。

ここでは定期的の日赤医療チームの人や県や市の保健師さんが夫のところに巡回に来てくれ、日常よりも私の介護の負担が少なくなりました。

自宅の片付けに帰ってみると、日ごろ使っているコンパクトカメラが落ちており、写真を撮ろうと思い経ちました。このカメラで総合体育館の避難所の様子や保健師の方、天皇皇后両陛下も撮影しました。夫は翌年1月12日に亡くなってしまいました。



撮影した市の阿部保健師と一緒に総合体育館の情報コーナーで



もとの姿に戻った育苗ハウス

育苗ハウスを避難所にした横渡

篠田朝隆さん（横渡）

私は地震が起きたとき、丁度入浴していました。風呂のお湯が大きく波打ち、家族とともに声を掛け合い外に逃げました。

その夜は車に避難しましたが、翌日公会堂で町内の話合いがもたれ、町内の丘の上にある育苗ハウスが避難所として使えるということで、みんなでそこに行くということになりました。

そして、ハウスのテーブルをお置き、みんなが少なくとも食事だけでも一緒にしようということになり、日が経つにつれて、朝食を取りここから勤めに行ったり、学校に通う子どもの姿も見られました。

結局この育苗ハウスの避難所の生活は2週間続きました。本当にこの施設があって横渡の町内は助かりました。

私自身は40年前に建てた我が家が全壊でした。この歳になって2軒目に家を建てることになるとは思いもかけませんでした。

この震災の記録と撮影した写真を町内の公会堂に納めようと思っています。

新潟県中越大地震小千谷市復興祈念式典を開催

新潟県中越大地震から2年を迎え、小千谷市復興祈念式典が10月23日(月)市民会館大ホールで遺族、関係者が出席して開催されました。地震が発生した午後5時56分には全員が黙祷を捧げました。体験発表では小千谷闘牛の北斗会とわかち未来会議による発表が行われたほか、最後に東小千谷小学校の児童が明るい夢と希望に向かって飛びたつことをイメージして作られた「希望の明日へ」を合唱しました。



東小千谷小学校の児童たちが歌う「希望の明日へ」



参列者による黙祷



震災2周年にあたり挨拶をする関市長

体験発表で牛の角突き
の復活までの経緯を説明
する北斗会



新潟県中越大震災復興関連行事



市民が企画して10月22日(日)総合体育館コミュニティプラザで行われた「震災復興イベント夢咲きほこれ～つながれみんな～in小千谷」ステージのほか環境ワークショップ、フリーマーケットなども開催



新潟文化祭2006中越大震災復興応援プラスバンドフェスティバルー最後に三枝成彰さんの指揮により威风堂々を合同演奏ー10月28日(土)総合体育館



11月4日(土)2006まっとう震災復興祭でスティールパンを演奏する神戸ボランティア楽団「ファンタスティック」と地元のみなさんが一緒に演奏



B S Nラジオ公開放送が10月22日(日)に総合体育館で行われ歌手前川清さんらが市民を激励

行政改革のより一層の推進に向けて

市では、小千谷市行政改革推進委員会（小宮山佳秀委員長）に「小千谷市行政改革大綱の見直し及び集中改革プランの策定」について諮問^{しもん}してまいりました。

10月27日（金）に委員会審議が終了し、小宮山委員長から市長に答申され、このたび答申どおりに決定しました。その概要をお知らせします。

行政改革の目的

今日の地方自治体を取り巻く環境は、国による地方交付税の削減等の財政問題をはじめ、少子高齢化に伴う人口減少や高度情報化社会への対応など、かつて経験したことのない多くの課題を抱えています。

これらの課題に適切に対応するとともに、市民本位の行政サービスを行うことができるシステムを再構築するため次のとおり行政改革を推進します。

行政改革の基本的視点と姿勢

市民本位の市政を推進します。

将来にわたり健全な財政運営を推進します。

改革の目的に適合した行政システムを再構築します。

集中改革プランの主な

取り組み

事務事業の見直しの推進
限られた財源、人材を最大限有効に活用するために、効率化及び選択と集中の観点から、事務事業の再編・整理、廃止・統合を進めます。

民間委託等の推進

費用対効果を考慮した事務事業の民間委託、公の施設の効果的・効率的運営と市民サービスの向上を図るため指定管理者制度の活用を進めます。

定員管理の適正化

定員適正化計画に基づき、事務事業の見直しや民間委託などにより職員の削減を図ります。

給与制度の適正管理の推進

人事評価制度を導入し、年功的給与を抑制するとともに、職務、職責や勤務実績を反映した給与システムに移行します。

財政運営の健全化

経費削減を進め、時代の変化に柔軟に対応できる財政基盤を確立し、市民本位の市政運営を推進します。

公営企業の経営の健全化

市民生活や産業に不可欠なサービスを将来にわたって安定的に提供していくために、中期経営方針を定めて経営の健全化を図ります。

実施に当たっては、P D C

Aサイクル（Plan…計画、Do…実行、Check…評価、Action…改善）を定着させることとし、取り組みの実効性を高めます。

計画期間

平成18年度から平成21年度までの4年間です。

数値目標

計画期間の終了までに、職員数を21人（4・73%）削減するとともに、民間委託の推進や合理化などにより約7億円の経費削減を行います。

推進体制

着実な推進を図るため、市長を本部長とする「行政改革推進本部」を設置し、全庁をあげて実行します。

実施状況は、市報おぢや、ホームページなどを通じてお知らせします。

行政改革大綱とは・・・

行政事務全般について、今後の目指すべき方向や改革の基本的視点と姿勢、重点事項、推進体制などをまとめたものです。

実施計画とは・・・

行政改革大綱で掲げている改革の重点事項を具体化した76項目からなる計画です。

集中改革プランとは・・・

国の「地方公共団体における行政改革推進のための新たな指針」に基づき、具体的な実施計画を整理したものです。

お問い合わせ先／企画財政課
企画係

■83・3507

のじぎく兵庫国体で2選手が入賞

9月30日から10月10日にわたって開催されたのじぎく兵庫国体で、小千谷市から参加した、陸上競技の高橋圭さん、山岳競技の瀧澤三咲子さんが入賞しました。入賞した2人にお話を伺ってみました。

山岳競技 少年女子縦走6位 瀧澤三咲子さん



瀧澤三咲子さん（十日町高校2年・城内3）は山岳競技少年女子縦走で6位に入賞しました。

山岳競技少年女子縦走は、なんと8kgもの「おもり」を背負い、決められたコースを登り、ゴール

への到着時間を競う競技です。早く到着するほど得点は高く、ペアになった2人の合計得点で順位が争われます。

出場にあたっては、「全国大会になると選抜抜かれた強い選手が大勢いるので、張り合えるように、気持ちで負けしないようにしようと思って競技に臨みました」と話してくれた瀧澤さん。

「競技中盤は本当につらく、自分より前にペアを組んでいる小林さん（十日町高校）がいたので、足を引っ張らないよう、一人でも抜いて順位を上げられるようにあきらめないで行こうと思っていました」と、競技中の思いを話してくれました。

スキーの距離競技にも取り組む瀧澤さんは今年のインターハイでも上位入賞をめざして練習を積んでいるそうです。

「来年も国体に出られるかどうかはわかりませんが、出場できたら上位入賞を狙っていきたいと思っています。自分のメイン競技はスキーですが、山岳競技でも全国の舞台を経験することができました。自分の専門の競技だけでなく、別の競技もやってみることで、競技に対する視野が広がり、将来必ず自分のためになると思っています」と今後の目標を話してくれました。

陸上競技 少年女子共通走り高跳び3位 高橋 圭さん



高橋圭さん（長岡大手高校3年・石名坂）が少年女子共通走り高跳び3位に入賞しました。

「高校生になってから、新潟県の代表のジャージを着て出場したいとずっと思っていて、や

っと出られるという気持ちでした」と国体出場が決まった時のことを振り返って話してくれた高橋さん。

高校生になって、先生と「3年間で全国大会で優勝しよう」と約束していましたがインターハイで失敗してしまい、残るはこの国体だけだったので何とか記録を出さなければと思っていたそうです。

「競技中の緊張感が好き。失敗をする気がしなかったので思い切りやろうと思った」という高橋さんは、なかなか超えられなかった自己記録を1cm上回る1m72cmを跳び、今回自己最高記録で見事3位入賞に輝きました。

「以前、けがで走れなくて落ち込んでいたとき、地元のスポーツ少年団の子どもたちが自主的に練習を頑張っているのを見て、けがくらいで落ち込んでなんかいられないと勇気づけられた。自分は陸上が好き。楽しんでやっています」と陸上競技への思いを話してくれた高橋さん。

これからの目標をたずねると、「今まで、いろんな人たちから応援してもらってきました。その人たちに恩返しをするつもりでこれからもいい記録を狙っていきたいと思っています。今後は大学に進み、先生との全国大会での優勝という約束を果たし、3年後の新潟国体で優勝したい」と力強く話してくれました。



炊き出し訓練



小千谷市総合防災訓練を実施

震度6強を想定55団体約6000人が参加

小千谷市総合防災訓練が10月15日(日)信濃川河川公園と東小千谷中学校を会場に本番さながらに行われました。

この訓練は3年に1回実施されるもので、新潟県中越大震災以来初めて実施したものです。当市において午前8時30分に震度6強の強い地震が発生したことを想定して行われました。また、中越大震災の教訓を踏まえ、大地震などの大規模災害が発生したときに地域の住民と自主防災組織・防災機関・団体間の協力関係を高めるとともに、市民のみなさんから「自らの身体と財産は自ら守る」という防災に対する理解と意識を高めてもらうために行いました。

訓練には、東小千谷地区を中心とした消防団、自主防災会、町内会、防災関係機関や団体など、55団体、約6000人が参加しました。参加者のみなさん大変お疲れさまでした。



東小千谷中学校の屋上からのはしご車による救助訓練



県防災ヘリコプターを見学する人たち



バケツリレーによる消火訓練



豪雨を体験する車アメニティー



倒壊家屋からの救出訓練



消火器を使っての体験訓練



消防団による土のう積み訓練



自動車火災を素早く消すミストドラゴン

小千谷市展入賞者と市長賞作品の紹介

第26回小千谷市展が11月3日(祝)から5日(日)まで市民体育館で開催されました。審査の結果、次の方々が入賞されました。市展の作品の審査員の選評と市長賞の作品を紹介します。

審査員 《日本画》 関登美恵(日展会友・魚沼市)

《洋画・版画》 山本安雄(一陽会会員・南魚沼市)

《写真》 羽賀康夫(日本写真家協会会員・新潟市)

《水墨画》 浅井菁亭(全国水墨画会会長・新潟市)

《書道》 丹羽芝水(日本刻字展審査委員・長岡市)

《彫塑・工芸》 大滝源一(日展会友・村上市)

日本画

一生懸命さが伝わり好感が持てました。レベルも高く受賞作品を選ぶのに迷いました。作品づくりにはポイントを強く出し明暗をしっかりとつけるようにしてください。

受賞した作品を良く見て何かを感じ取り、少しでも多くの方が出品してください。

市長賞の作品

市の特産物である錦鯉をうまく配置し、白の「はなみづき」の花を右上からやさしく入れた大変良くできた作品です。塗り方も抑えた感じが描きなれた方と思います

水墨画

全体として、みなさんが良く描けています。どの作品も風景がほとんどですが画題が少しさびしい感じがします。

市長賞の作品

樹木の表現などがうまくまとめて良い作品に仕上がっています。作品に向かう一生懸命さを感じます。

洋画・版画

力作ぞろいで、まじめな作画態度は好感がもてます。

モノを描く、描き込むという姿勢はこれからも大切にしたいと思えます。サイズが小さいために、入賞できなかつた作品も数点ありました。ある程度の大ささで描くことは、実力をつけるためにも大切なことです。

市長賞の作品

描けるなあーというのが、最初の印象。雪深い家々の雰囲気が見事に描き出されている。雪国の人でないとは描けない表現があります。

市展入賞者(敬称略)

日本画の部

市長賞 久保田光子(本町1)

新潟日報美術振興賞 山本令子(元町)

奨励賞 内山美恵子(土川2)

佳作 横田ハル子(平沢1)、大淵絹子(芋坂)



芸術の秋を楽しむ市民でにぎわう市展会場 (市民体育館)



日本画の部 市長賞 久保田光子さんの作品「復興へ」



水墨画の部 市長賞 青柳サチ子さんの作品「澤山神社の大杉」



洋画・版画の部 市長賞
登喜治さんの作品「雪晴れ」
星野



写真 市長賞 和田清一さんの
作品「奇跡の現場」



書道の部 市長賞
矢尾板素子さんの作品「延壽」

書道

作者の感性を個々の審美眼で判断することが必要です。上位入賞を惜しくものがない方も差はほとんどなく、実力のある方ばかりであった。若い人の台頭もあり高い意気込みを感じました。

市長賞の作品

悠々たる宇宙を感じさせ、スケールの大きさがあり、説得力ある力作と思う。墨の凝集・潤筆部の安定感と渴筆部分の対比が論理的であり、作品構成も正面から堂々としている。

写真

各ジャンルにより作品が寄せられ、バライテイーに富んだよい傾向です。応募作品のなかで少しピントの悪いものやデジタルプリントでもう少し色彩の工夫がされたらもっと良い作品になったものがありました。

市長賞の作品

写真でなければ表現できないドキュメントフォトの力作といえます。写真の強さがひしひし

と伝わってきます。芸術的な作品を超えた迫力がリアルに見る者の心を打ちます。

彫塑・工芸

工芸とは、ただ手を動かして物を作るだけではなく、その上に自分の考えたこと、感じたことを第三者にも解ってもらえるよう工夫する。それが工芸作品で、芸術作品であろうかと思えます。

市長賞の作品

情景描写ではなく、構成を主体としたもので、これもまた作者の意図の上に立ったものであれば立派な作品といえます。



彫塑・工芸の部 市長賞 本田章子さんの作品
「追憶」

水墨画の部

市長賞 / 青柳サチ子 (桜町中)

新潟日報美術振興賞 / 今井静江 (千谷川2)

奨励賞 / 入澤キヨシ (長岡市)、新保正文 (千谷)、佐藤フミ

(岩沢山谷)

佳作 / 田中正昭 (時水)、川上ムツ (本町2)、篠田千代

(津山町)、山口恒 (一之町一区)、渡辺ツネ (信濃町)

洋画・版画の部

市長賞 / 星野登喜治 (山寺)

新潟日報美術振興賞 / 平沢博子 (上ノ山3)

奨励賞 / 竹元寿市郎 (千谷川4)

佳作 / 吉川修 (長岡市)、関明一 (塩殿)

書道の部

市長賞 / 矢尾板素子 (長岡市)

新潟日報美術振興賞 / 谷口陽子 (上ノ山4)

奨励賞 / 中村弥生 (古田)

佳作 / 鈴木正子 (千谷川1)、金子望 (城内2)

写真の部

市長賞 / 和田清一 (元中子)

新潟日報美術振興賞 / 篠田やよい (横渡)

奨励賞 / 伊佐清二郎 (東栄3)、外山和子 (魚沼市)、

櫻井信夫 (魚沼市)

佳作 / 澤口政弘 (城内3)、金子みさち (元中子)、須田隆

(小栗田)、伊東孝 (稲荷町)、和田均 (元中子)

彫塑・工芸の部

市長賞 / 本田章子 (町裏)

新潟日報美術振興賞 / 吉田知恵子 (千谷)

奨励賞 / 横山定 (桜町中)

佳作 / 岩淵文子 (上ノ山5)、中村ハツ (津山町)、

星野柳二 (平沢1)



熱唱！熱演！市民音楽祭

音楽好きなグループ・団体などが日ごろの練習の成果を市民音楽祭で披露しました。今年で25回目となるこの音楽祭は毎年秋に行われています。

市民会館大ホールで11月3日(祝)・4日(土)の2日間に渡り開催され、3日(祝)のバンドの部ではロックやフュージョンなど5団体、4日(土)のコーラス・フォーク・ジャズの部では9団体がステージ上で熱のこもった演奏や歌声を披露しました。

この音楽祭は、参加団体が実行委員を組織し企画・運営をしています。会場では出演者と観客が一体となって音楽を楽しんでいました。



川上裕雅さん高専ロボコンで全国大会出場

川上裕雅さん(長岡高専 内ヶ巻・写真中央奥)は、長岡高専チームとして10月22日茨城県ひたちなか市で行われた「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2006」関東甲信越地区大会で準優勝・特別賞に輝き、見事全国大会に出場が決定しました。

川上さんは「ロボット名は『はし掛け花火』といいます。地区大会では、完璧な動作ができなかったのですが、完成度を上げて大会に臨み、ゴールまでたどり着き、ぜひとも勝利を飾りたいです」と全国大会に向けた抱負を話してくれました。

全国大会は11月26日(日)両国国技館で開催されます。



小千谷川口駅伝3年ぶりに開催

第46回小千谷川口駅伝競走大会が11月5日(日)に開催され、小千谷市、川口町のほか十日町市、魚沼市などからの参加がありました。伝統を誇るこの大会も中越大地震のため3年ぶりの開催となりました。

参加した人たちは秋が深まった小千谷～川口町間を沿道の声援の中、元気に走っていました。

各部の優勝チームは次とおりです。

男子一部	小千谷消防署
高校男子	国際情報高校
男子二部	カラータイマーA
中学生男子	東小千谷中学校B
女子	中条中学校A

北越戊辰戦争ゆかりの地に来訪者



10月16日(土)下関市長が、観光キャンペーンで小千谷市を訪れ、中越大震災で大きな被害を受け復興慈眼寺をたが訪問し、住職の案内で岩村・河井会見の処などを見学しました。



10月12日(木)萩市議会の総務委員会の8人のみなさんが行政視察に訪れ、船岡公園の戊辰戦争西軍墓地を訪問し、手を合わせました。



トリムウォーキング秋の風景を楽しむ

第29回トリムウォーキング大会が10月9日の体育の日に行われました。

この大会は総合体育館を発着とする9キロと17キロの2コースで行われ、家族連れや友だち同士など422人の参加者がありました。参加者の中には長岡市や加茂市からきたという人もいました。

信濃川の土手や遊歩道の脇にはコスモスが青空の下に咲き、参加者は復旧した小千谷の景色に目をやりながら元気に歩いていました。



1000人のチェロ中越地震チャリティーコンサート

阪神淡路大震災の復興支援のために行われた1000人のチェロコンサートに参加した全国のチェリスト有志で結成するNPO国際チェロアンサンブル協会の93人のチェリストが中越大震災の被災地を励まそうと、10月8日(日)、東山小学校でチャリティーコンサートを開きました。

ステージには、小千谷混声合唱団OSCのみなさんも出演し、素晴らしい歌声を披露してくれました。集まった300人の観衆は100近いチェロの響きを楽しんでいました。

また、演奏の後、協会から東山地区復興協議会に義援金が送られました。



タオルを使ってストレス解消体験をする参加者



バルーンアートを楽しむ子どもたち（サンラックおぢや）

市民会館で講演する福島敦子さん



おぢや健康福祉まつり 2年ぶりに開催

第25回おぢや健康福祉まつりが震災により2年ぶりに開催されました。この健康福祉まつりは市内の保健、医療、福祉などの関係団体が協力して行っています。

10月6日(金)市民会館で行われた「健康福祉まつり講演会」ではキャスター、エッセイストの福島敦子さんが講演をされ、聴講者は福島さんの楽しいお話に聞き入っていました。

10月8日(日)は、総合体育館内でさまざまな体験コーナーや相談コーナーが設けられ1,235人の来場者がありました。また、サンラックおぢやでは「福祉ふれあいフェスティバル」が開催されました。

第46回全国農林水産祭参加 新潟県錦鯉品評会

新潟県錦鯉品評会が10月28日(土)・29日(日)の両日総合体育館コミュニティプラザで開かれました。

今年は62の生産者472点の出品がありました。家族連れや外国からの観客の姿も多く見かけられました。市内からの全体総合優勝者は次のとおりです。

- 全体総合優勝 1 席大日養鯉場(株) (三仏生) 昭和三色
- 全体総合優勝 2 席大日養鯉場(株) (三仏生) 大正三色
- 第70部優勝 浦川養鯉場 (浦柄) 紅白
- 第55部優勝 廣井養鯉場 (小栗山) 昭和三色
- 第50部優勝 廣井養鯉場 (小栗山) 五色
- 第40部優勝 大家養殖場 (朝日) 大正三色
- 第18部優勝 鈴木俊郎 (千谷) 昭和三色



おぢや 文化財散歩 16

市指定文化財 ところ 岩村・河井会見の処

平成町（旧寺町）の慈眼寺は、北越戊辰戦争を語る上で欠かせない史実「岩村精一郎と河井継之助の会見」が行われた場所です。

慶応4年（1868）5月2日。会津藩・旧幕府兵を討伐にきた西軍の軍監岩村精一郎に対して、長岡藩の家老河井継之助は、武力ではなく平和に解決しようと談判を行います。が決裂、長岡藩は交戦への道を歩むことになります。

その談判の行われた慈眼寺の一室は、幕末当時のまま残され、河井・岩村の肖像や小千谷付近の合戦図などの歴史資料を展示、さらに、談判の状況を再現した音声解説が整備されていました。

しかし、一昨年の中越大震災で本堂が大きな被害を受け、一時は建て直しも考えられましたが、戊辰戦争史跡を保存したいという市民有志や全国からの応援を受けて復旧することができました。現在は、震災前と同様に見学することができます。

見学などの問い合わせ / 商工観光課（観光協会） ☎83-3512
社会教育課 ☎82-9111

小千谷市教育委員会



作ってね！ この料理

きのこサラダ

材料（4人分）

しめじ1パック、まいたけ1パック、生しいたけ1パック、えのきたけ2袋、カットワカメ少々、油揚げ1枚、万能ねぎ適量、かつおパック1袋、七味唐辛子小さじ1、ドレッシング（ポン酢しょうゆ大さじ4、酒大さじ2）

作り方

きのこは食べやすい大きさに切っておく。
油揚げは油抜きして、細切りにする。
耐熱皿にきのここと戻したワカメ、油揚げを入れ、ドレッシングを混ぜてラップをしないで電子レンジで5分加熱。
さらにかつおぶしを混ぜて2分加熱する。
最後に万能ねぎ、七味唐辛子をかける。

栄養価（1人分）

エネルギー126kcal、たんぱく質8.9g、脂質5.6g、塩分1.4g

（調理：小千谷市食生活改善推進委員）



乳幼児健診、予防接種の実施日には、先着順に番号札をお渡しします。
番号札配布開始時間 午前中に開催の場合 = 午前8時30分～、午後で開催の場合 = 正午～

うぶごえ教室

日時 / 12月14日(木) 午前9時～12時
対象 / 妊婦、1歳未満のこどもの母親など
会場 / 健康センター
内容 / 母乳育児と妊娠中、産後の過ごし方などについて・料理実習、会食交流会
持ち物 / 母子健康手帳、エプロン、三角布、お子さんの離乳食
無料
申込 / 12月11日(月)まで。お子さん、ご夫婦一緒でも参加できます。



献血バスゆうあい号の日程

みなさんのご協力をお願いします。
全血献血

日時 / 12月7日(木)午前9時30分～午後3時30分
会場 / 株第一測範製作所

献血功労者の表彰

次の方が表彰されました。(敬称略)

献血50回

佐藤正之(旭町)

献血30回

佐藤剛(市ノ口)、吉田加代子(上ノ山5)、内山淳(平成1)、滝沢孝雄(桜町中)、宮城あゆみ(坪野下)、大久保一(元中子)

献血10回

須田孝男(小栗田)、南雲直子(小栗田)



乳幼児の健康診査

会場は健康センターです

4か月児健康診査

日時 / 12月7日(木)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成18年7月生まれ
持ち物 / バスタオル、母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食講習会を同時実施



10か月児健康診査

日時 / 12月13日(水)午後1時～1時10分受付
対象 / 平成18年1月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、替え用のオムツ
その他 / 離乳食後期の講習会を同時実施

1歳6か月児健康診査

日時 / 12月14日(木)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成17年5月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳
その他 / 歯科検診を同時に行いますので、歯をみがいて来てください。

2歳児歯科検診

日時 / 12月21日(木)午前9時～9時10分受付
対象 / 平成16年11月生まれ
持ち物 / 母子健康手帳、お子さんのハブラシ
その他 / 幼児食講習会と歯科衛生士によるブラッシング指導があります。歯をみがいて来てください。



3歳児健康診査

日時 / 12月20日(水)午後1時～1時20分受付
対象 / 平成15年11月生まれ
持ち物 / 目と耳のアンケート、生活習慣アンケート、母子健康手帳
その他 / 尿検査、歯科検診も同時に行います。歯をみがいて来てください。また会場で採尿しにくいお子さんは、清潔な容器に尿を入れてお持ちください。

*発熱など、普段と違う症状のあるお子さんは、翌月の健診日においでください。

お年寄りの心の相談会

物忘れがひどい、やる気が出ないなどでお困りの方
その家族の相談を精神科医師が無料でお受けします。

日時 / 12月18日(月)

午後1時30分～3時30分

会場 / 健康センター

申込 / 12月15日(金)までに高齢福祉課へ

☎83-0807

健康 の情報



12月の予定

子宮頸がん検診・乳がん検診日程表 (40歳以上の方は同時実施)

月日	受付時間	会場
12.4(月) 12.11(月)	13:00~13:10 14:00~14:10 子宮がん検診のみ受診される方は、14:00~14:10受付	小千谷総合病院
12.4(月) 12.11(月)	13:30~13:45 14:15~14:30 子宮がん検診のみ受診される方は、14:00~14:15受付	魚沼病院
12.1(金) 12.5(火) 12.8(金)	9:00~12:30 15:00~17:30 20~38歳の方の子宮がん検診のみ実施	森平レディースクリニック

必ず個人通知が届いてから受診してください。指定された日が、ご都合の悪い場合は、受診日を変更してください。乳がん検診は、今までより時間がかかります。



子宮頸がん検診

対象 / 20歳以上の女性で、今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 1,000円、70歳以上の方 無料

乳がん検診(マンモグラフィ・視触診併用検診)

対象 / 40歳以上の女性で今年度末までに偶数年齢になる方(隔年検診)
料金 / 40~48歳 1,400円(X線写真を4枚撮影)
50~68歳 1,000円(X線写真を2枚撮影)、70歳以上の方 無料
その他 / 手術で子宮、乳房を摘出した、豊胸手術を受けた、子宮、乳房の病気で通院中の方は、集団検診は受けられません。引き続き病院で診療を受けてください。

各種検診のご案内

指定された日時、会場で受診できない方は、都合のよい会場で受けてください。受診通知書が届いていない方で、受診を希望する方は、健康センターにご連絡ください。

胃集団検診日程表 (申込数により受付時間を変更する場合があります)

対象地区	月日	受付時間	会場
上ノ山1~5、稲荷町、平成2、土川	12.4(月)	8:30~11:00	市民会館
城川地区、千田地区、東山地区、日吉、船岡、元町、栄町、本町、平成1、五辺、高梨、山本、西中、坪野(上)、細島、塩殿、卯ノ木、上片貝、大崩、	12.8(金) 12.11(月)		健康センター
東小千谷地区、横溝地区	12.13(水)		白寿荘

胃集団検診

対象 / 40歳以上の方
料金 / 1,000円70歳以上の方は無料)
大腸がん検診を希望する方は、胃検診会場でお申込ください。容器を配布します。



AAグループミーティング

アルコール依存を正しく理解し、互いに話し合うことで断酒継続をしています。

対象者 / アルコール依存やお酒で体調をこわしている方、家族、友人
日時 / 毎週水・金曜日 午後7時30分~9時
会場 / 健康センター

心の健康相談

心が沈みがち、元気が出ない、眠れない、アルコール依存、家庭内暴力などでお困りの方の相談を精神科医師がお受けします。

日時 / 12月7日(木) 午後1時30分~3時
会場 / 健康センター
申込締切 / 12月6日(水)

わくわく夢広場

健康福祉課 ☎83-3517

市立保育園主催の「わくわく夢ひろば」を開催します。市内保育園の保育士がステージ発表を行います。家族そろってお越しください。

日時 / 11月25日(土)

1回目 / 午後1時30分～2時30分

2回目 / 午後3時30分～4時30分

会場 / 市民会館大ホール

内容 / ミュージック

パネル、ダンス、

ぬいぐるみ人形劇

その他 / ロビーで

は手作りおもちゃ

の展示もあります。

入場無料

ただし、入場券が必要です。入場券は保育園にありますので近くの保育園にお問い合わせください。



市民芸能まつり

市内の芸能団体が出演します。ぜひご覧ください。

日時 / 11月26日(日)午後2時開演

会場 / 市民会館大ホール

入場無料

出演団体 /

第1部 / 午後2時～

富久寿大学民踊クラブ、YOSAKOIチーム城内、秀桜会、秀光会、日本ペアリング紅葉会、雪椿、8&Pスクール、扇秀会、悦美会

第2部 / 午後4時～

なごみ会、瑠美の会、扇の会、めぐ美会、千谷民踊会、藤和会、片貝民踊の会、岩沢愛友会、松崎会小千谷支部、らんの会

第3部 / 午後6時～

アンサンブルすばるの会、小雪会、美鈴会、祭や倶楽部おぢや、越後おぢや相撲甚句会、榎若、裕彩会 & 木津伝承芸能保存会、藤小会、深雪会、穂波会

問い合わせ / 公民館 ☎82-9111



クリスマスのつどい

図書館 ☎82-2724

子どもとしゃかんクリスマスのつどいを開催します。どなたでもお気軽においでください。



日時 / 12月9日(土)午後2時～3時

会場 / 図書館3階

内容 / 大型紙芝居「ぐりとぐらのおきゃくさま」、パネルシアター「てぶくろ」お楽しみタイムほか
問い合わせ / 図書館

ジャズコンサート

ゲタイト・デル・ソン "Latin Jazz Night Special"

期日 / 11月25日(土)

開場 / 午後6時、開演午後6時30分

会場 / サンプラザ大ホール

出演 / 高橋ゲタ夫:ベース、寿永アリサ:ボーカル、ルイス・パジェ:トランペット、小坂武巳:トロンボーン、中島徹:ピアノ、都筑章浩:コンガ、ファンカルロス:ティンバル
日本のラテンジャズ界の代表的メンバーにより、ラテンのルーツ「ソン」をベースに、心にしみる名曲やオリジナル曲を、明るくわかりやすいJAZZの味付けで、お楽しみいただきます。

チケット / 前売4,000円、当日4,500円

主催 / ジャズコンサートインおぢや

共催 / 小千谷市教育委員会

問い合わせ / 事務局(横民) ☎82-3860、市民会館 ☎82-9111、サンプラザ ☎83-4800

☎025・228・2651

センター

お問い合わせ / 放送大学学習

月15日(木)

出願受付 / 12月15日(金) 2

士科(目生)

大学院生(修士選科生・修

生・選科生・科目生)

募集学生 / 教養部(全科

ラジオで授業を行う通信制大

学です。

でも、だれもが学べるテレビ、

放送大学はいつでも、どこ

放送大学4月入学生募集

☎025・280・5244

事務局(新潟県庁産業振興課内)

問い合わせ / 実行委員会事

務局(新潟県庁産業振興課内)

参加無料・申込不要

工作教室など

内容 / 小学生向けの実験・

(長岡市学校町)

会場 / 長岡市市民体育館

26日(日)午前10時～午後4時、

午後5時、

日時 / 11月25日(土)午前10時

験してください。

わくわくの科学の世界を体

術を持つ企業などが一緒にな

って、さまざまな実験・工作

教室を開きます。

2006新潟県大会開催

青少年のための科学の祭典

農業所得収支計算説明会

農業所得の申告のための説明会を開催します。
開催日程 / 日程表のとおりです。

農業所得収支計算説明会日程表

対象地区	月日	時間	会場
片貝、高梨、五辺	11.27(月)	14:00~16:00	片貝総合センター
西小千谷、東小千谷、 山本、西中、谷内	11.28(火)	9:30~11:30	サンラックおぢや
真人		14:00~16:00	
千谷川、城内、時水、池ヶ原、 池中新田、塩殿、上片貝	11.30(木)	9:30~11:30	
吉谷、東山、横浦		14:00~16:00	
小栗田、岩沢	12.1(金)	9:30~11:30	
桜町、山谷		14:00~16:00	
両新田、藪川、平沢、 若葉、坪野(下)、川井	12.4(月)	9:30~11:30	
千谷、三仏生		14:00~16:00	

講師 / 関東信越税理士会小千谷支部所属 税理士
小千谷税務署国税調査官
小千谷市税務課市民税担当職員

持ち物 / 筆記用具・電卓

その他 / 1回の所要時間は2時間程度です。

問い合わせ / JA越後おぢや ☎83-3424

小千谷税務署 ☎83-2093

税務課市民税係 ☎83-3508



ホットプラザ祭

勤労青少年ホーム ☎82-8510

日時 / 11月23日(祝) 午前10時~
午後3時
会場 / 勤労青少年ホーム、東小千
谷体育センター
内容 / ホーム利用者による茶席、
生花・フラワーアレンジメント展
示、模擬店、軽食喫茶、フリーマ
ーケットなど

フリーマーケット出店者募集

勤労青少年ホーム ☎82-8510

ホットプラザ祭のフリーマーケット
出店者を募集します。

日時 / 11月23日(祝)午前10時~午
後3時(当日は午前9時30分に集合)
会場 / 東小千谷体育センター
出店料 / 無料
区画面積 / 畳4畳程度
締切り / 11月21日(火) 午後5時

12月おはなしの会

図書館 ☎82-2724

毎週火曜日
午後3時30分~4時
12月5日、12日、
19日、26日
第3日曜日
午後2時~2時30分
12月17日
会場 / 図書館1階おはなしの部屋
問い合わせ / 図書館



市税等の納期限

11月30日(木)

固定資産税・都市計画税
(第3期)

国民健康保険税(11月分)

介護保険料(11月分)

11月1日(水)に小千谷市と
NPO法人コメリ災害対策
センターは物資供給に関す
る協定を結びました。
この協定は市内で地震、
風水害などによる大規模災
害が発生した場合に備え、
被災者への物資供給などの
協力について定めています。
協定内容は物資(作業用
品・日用品・水・冷暖房機
器・電気用品など)の迅速で
優先的な供給と、駐車場を
一時避難場所として使用す
ることについて取り決めて
います。
なお、企業としては7月
にジャスコ小千谷店と協定
を結んでいます。

災害時に備え
コメリ災害対策センターと
物資供給の協定を結ぶ

浄化槽を使用している方へ

市民生活課 ☎83-3509

浄化槽を使用している方は、適正に維持管理が行われているかを確認するため、毎年1回、県が指定する検査機関による定期検査(法定検査)が義務づけられています。

定期検査は、保守点検業者を通して指定検査機関に申請してください。

20人槽以下の浄化槽の定期検査料金は、1基当たり3,700円です。

問い合わせ / 魚沼地域振興局健康福祉部

☎025-792-8619

カセットボンベは適正処理を

市民生活課 ☎83-3509

これからの寒い時期は、鍋料理などにカセットガスボンベを使用する機会が多くなります。

未使用のガスが残ったままカセットガスボンベがごみとして出されると、ごみの運搬時やごみ処理作業中に爆発事故などを起こすことがあります。カセットガスボンベは、使い切ってから穴を開け、埋立ごみとして出しましょう。

**震災記録写真集を希望者に頒布**

総務課 ☎83-3506

小千谷市震災記録写真集「R10.23私たちは忘れない」を発売し、10月25日に市内全世帯に配布したところ、残部があったら分けて欲しいとの要望が数多く寄せられました。

そこで、希望される方に1冊実費1,000円で総務課窓口で頒布します。

問い合わせ / 総務課

☎83-3506

「SOS雪おろし」

…あなたの雪おろしをお手伝いします 雪おろし支援活動希望者を募集

小千谷市では、市民の雪おろしの支援として「雪おろし支援活動(SOS雪おろし)」を実施します。

この制度は豪雪時を含め常時スムーズに雪おろし作業が行えるよう、市民と市が協力して雪おろしを行う人を募り、雪おろしでお困りの方への紹介サービスを行うものです。

対象者 / 雪おろしを希望する個人

(申込みは町内会長、民生委員や隣人など代理の人でも構いません) 申込みが多数あり、作業開始まで時間をいただくことがあります。親戚、知人などの協力を得られる方のご利用は、ご遠慮願います。対象家屋 / 市内に所在する個人所有の住宅など(事業所や店舗など法人所有の建物は除きます)

災害などにより家屋などが倒壊などの恐れのある危険なものについては、事故防止のため、対象外とさせていただきます。

申込方法 /

通年希望者(冬季間の雪おろし全てをあらかじめ依頼したい方)申込書に必要事項を記入して、12月11日(月)までにお申込みください。(申込書は、建設課、支所、連絡所にあります。)

随時希望者(1回ごとの雪おろしを依頼したい方)

希望する際に、建設課へお申込ください。(電話可)

作業までの確認事項など

通年希望者

担当する雪おろし作業者が事前にお伺いしますので、日程や作業代金などの打ち合わせを行います。

随時希望者

建設課で雪おろし作業を行う方を一覧表で紹介します。希望者は一覧表から選んで各自で依頼してください。

原則として各自で選んでいただきますが、市が代理で依頼することもできます。申込の際にご相談ください。

作業代金

作業代金は全額希望者の負担となります。

金額と支払方法は希望者と雪おろし作業を行う方で話し合ってください。

この制度では、一定の作業代金は定めておりませんが、豪雪時などにおいても作業代金が高騰しないよう上限金額を定めています。作業を行う方1人1日当り15,600円、1時間当たり1,950円です。

高齢福祉課、社会福祉協議会で行う低所得者除雪援助事業の対象となる方は、申込時にその旨をお申し出ください。

問い合わせ / 建設課克雪係 ☎83-3514



お知らせ

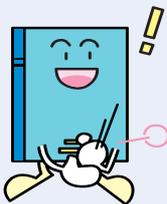
Information

小千谷市役所 ☎ 83・3511(代)
http://www.city.ojiya.niigata.jp/

ちぢみの里の利用券が当たる 広報クイズ

解答をはがきでお送りください。
正解者の中から、抽選で3人に
ちぢみの里の利用券を贈呈します。
市報おぢやの感想もあると担当は
うれしいのですが…

問題 10月15日には小千谷市総合防災訓練が行われました。さて、この訓練には何団体が参加したでしょうか。



35団体 45団体 55団体

(ヒントはp10)

応募先 〒947-8501小千谷市役所総務課広報広聴係あて(住所不要)

締切 11月24日(当日消印有効)

10月号の答えは、読売ジャイアンツでした。抽選の結果次の方が当選しました。

中野トシエさん、本田トシ子さん
桑原スミエさん

人口と世帯数(10月31日現在)

男	19,937人	△13 出生 22人
女	20,397人	△4 死亡 36人
合計	40,334人	△17 転入 62人
世帯数	12,376世帯	2 転出 65人

事故発生状況(10月31日現在)

	18年10月まで	17年10月まで
件数	158件	205件
死者	1人	2人
傷者	206人	269人

消防本部出動状況(10月31日現在)

	18年10月まで	17年10月まで
火災	14件	25件
救急	1,164件	1,346件

気象データ10月

	18年10月	過去10年の平均
平均気温	16.2℃	15.4℃
最高気温	26.2℃	28.5℃
最低気温	8.7℃	4.5℃
降水量月計	189.5mm	155.3mm

小千谷地域消防本部速報値

木造住宅の耐震診断料を一部助成

地震による木造住宅の被害を軽減し、災害に強いまちづくりを推進するため、木造住宅の耐震診断を受ける人に診断料の一部を助成します。

補助対象者/次の要件をすべて満たす住宅を所有する人。

市内に所在する住宅

昭和56年5月31日以前に建築された住宅

壁、柱、床、屋根その他の住宅の主要部分

の大部分が木造である住宅

一戸建て住宅

現に居住の用に供されている住宅(居住用と業務用に併用されている住宅を含む。)

平成18年4月1日以降に診断を受けた人を対象とします。

対象範囲/助成の対象となる耐震診断の範囲は木造部分とします。

高床・基礎などの木造以外の部分は助成対象範囲より除きます。



耐震診断の対象となる延べ床面積	耐震診断料	自己負担額	助成金額
70平方メートル以下	7万円	1万円	6万円
70~175平方メートル以下	8万円		7万円
175平方メートルを超えるもの	10万円		9万円

助成金額/助成対象範囲の住宅の延べ床面積に応じて定めた耐震診断料から1万円を差し引いた額とします。

受付戸数/先着100戸

締め切り/11月30日(休)

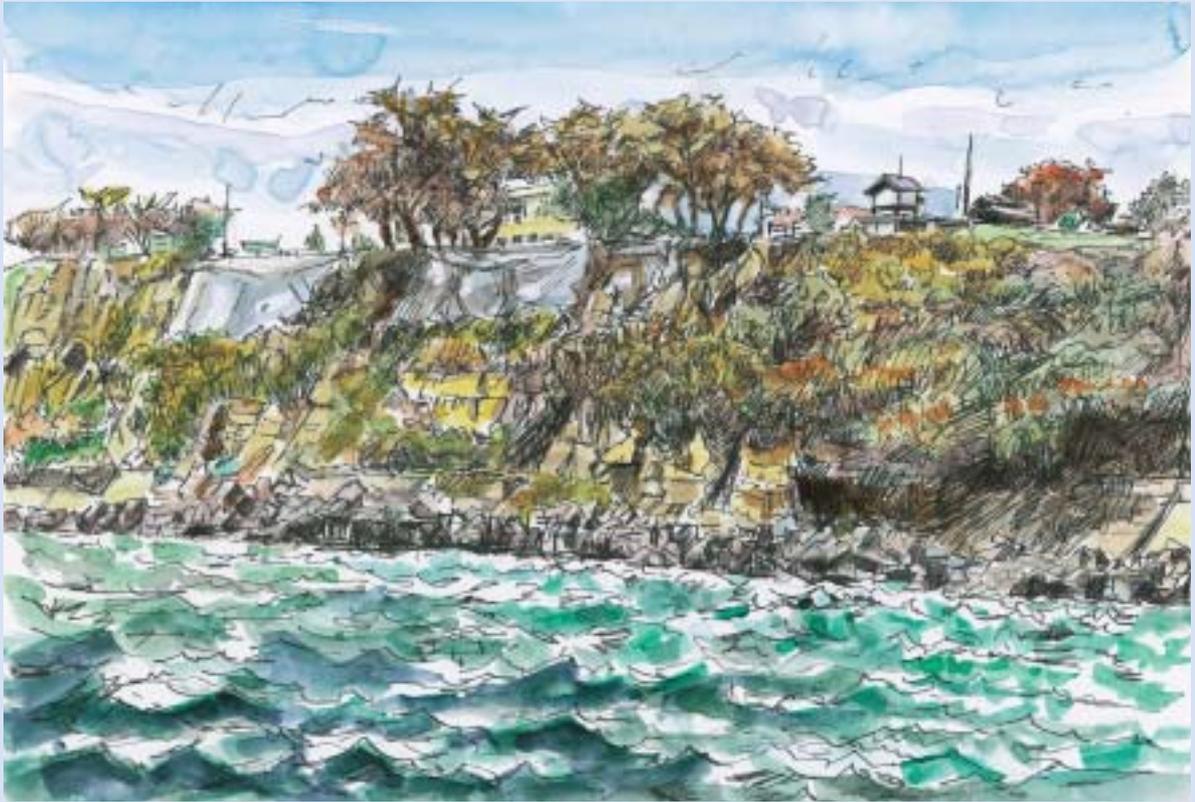
問い合わせ/建設課 ☎83-3514

(財)新潟県中越大震災復興基金

被災者住宅支援対策事業の対象要件が緩和

(財)新潟県中越大震災復興基金が震災で被害を受けた世帯などに対して実施している事業のうち、3事業が改正されました。

事業	改正内容	その他	受付・問い合わせ
公営住宅入居支援	対象者の拡大 被災状況が「一部損壊」で住宅を取り壊すなどして居住できなくなった世帯等も対象	事業によりそれぞれ所得、年齢等の条件があります。	建設課 ☎83-3514
民間賃貸住宅入居支援			高齢福祉課 ☎83-4060
親族等住宅同居支援			



小千谷を描く No307 慎知城対岸より

私の尊敬してやまない広川保さんから一編の詩をいただきました。

岩よ！慎知の大岩よ！眼の下三丈...信濃川の大渦が巻く孤高！この言葉より他なし。幾百年幾万年、すべてを知りつくし、世のさまが如何にうつろふと自若とした姿である崖に座る...幾百幾千回の大雨をくつがえす大地震さえ、岩の姿を変え得なかった。大岩は揺らぎこそすれ、足元の大渦小渦をあやしつ、永劫へ向け呟きつづける不動の哲学者！慎知の大岩よ唯一遣りし語り部よ 今日吾に何を告げん

私の技量では到底この壮大な詩に添える絵が描けません、大震災2周年目の鎮魂の思いでスケッチをしました。

(絵と文は西脇正久さん)

表紙

6月に小栗山の小千谷闘牛場で復活を果たした牛の角突きが11月5日(日)に約2500人という大観衆を集め無事に幕を閉じました。

東山小学校の牛太郎も今年最後の一番で健闘し、応援する子どもたちを喜ばせました。

6年生にとっては、5年間関わった牛太郎といっしょに闘牛場へ通う最後の日でもあります。

編集後記

10月から11月の初めにかけて、本当に多くの行事があり、編集室も大変忙しい日々が続きました。

あの震災から2年、震災特集の取材に伺ってみると、それぞれの方がいかにあの出来事により、大きな影響を受けたかということが感じられました。心の復興はこれからののかもしれません。

2006 11月

平成18年11月10日発行

833編集：小千谷市総務課

☎0258(83)3506

〒947-8501

小千谷市城内2-7-5

☎0258(83)2789

この広報紙は再生紙(古紙100%)大豆インクを使用しています。



大豆インクを使用しています